

大阪グローバルロータリークラブ

第24回例会会報 | 2026年8月4日

モンゴル新生児スクリーニング事業から学ぶ「持続可能な奉仕」



例会概要

ホテル日航大阪で開催された第24回例会では、大阪西南ロータリークラブの木島遼太郎氏を講師に迎え、モンゴルにおけるグローバル補助金事業について卓話をいただきました。支援物資を届けるだけでなく、現地医療従事者の育成や医療体制の構築を通じて、事業が継続する仕組みづくりの重要性を学びました。

プロジェクトの成果

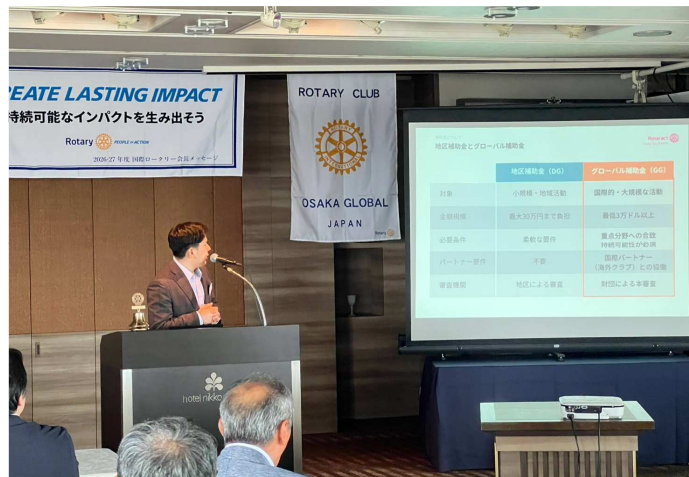
24,700人以上	15人	2,000人以上	1,700人以上
新生児スクリーニング	救われた命	医療従事者研修	妊婦検査

KEYWORD 持続可能性

例会フォト



会長挨拶



卓話の様子



会場全景

会報委員会 年間テーマ

「伝える」ではなく
「伝わる」

活動の魅力や感動が伝わる広報を目指し、ホームページ・SNS・AI 要約を活用した情報発信を進めます。

卓話ダイジェスト

今回紹介されたグローバル補助金事業では、新生児の先天性疾患を早期に発見し、適切な治療につなげるスクリーニング体制の整備に加え、現地の医療従事者への研修・教育を実施。単に機器や資金を届けるのではなく、支援終了後も現地で事業を継続できる仕組みを残す「持続可能性」が重要であることが紹介されました。

今回の例会 3 つのポイント

01 持続可能性

支援後も現地で継続できる仕組みをつくる。

02 人材育成

医療機器だけでなく、医師・看護師等への研修を行う。

03 国際連携

現地パートナーと協働し、地域の課題に即した事業を進める。

編集後記

今回の例会では、国際奉仕における「持続可能性」の考え方を学びました。支援の成果だけでなく、その先にある「自立して続く仕組み」をつくることの大切さが印象に残りました。今後も活動の価値や想いが会員や地域社会に伝わる会報づくりに取り組んでまいります。

公式 SNS



Instagram



Facebook